

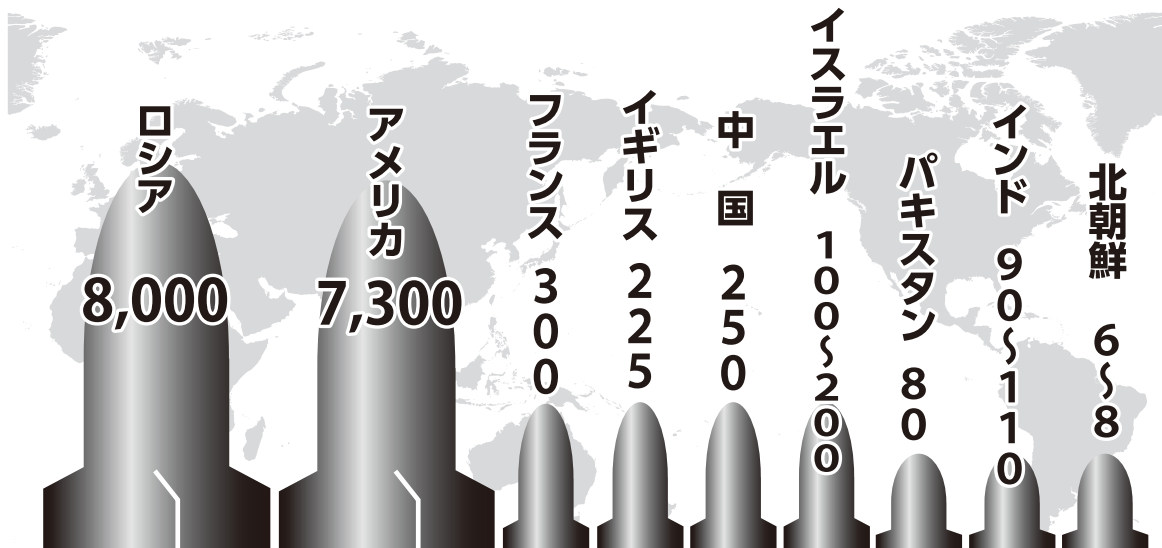
被爆70年へ、ヒロシマ、ナガサキのある日本から

# 核兵器のない平和で 公正な世界の実現を

## 広島と長崎を最後の被爆地に

広島、長崎に原爆が投下されてから2015年で70年を迎えます。投下されたその年のうちに、広島で14万人、長崎で7万人もの人びとが命を奪われたと言われていています。生き残った人びとも、がんや白血病などの原爆症に今もなおさいなまれています。

いま、世界には、1万6000発をこえる核兵器があります。人類をなんども絶滅させることができます。限定的な核戦争が起きた場合、20億人もの人びとが飢餓に陥るとの研究結果が出ています。このような兵器は、世界のどこにも二度と使われてはなりません。



2014年6月16日にストックホルム国際平和研究所が出したプレスリリースより  
Note : [http://www.sipri.org/media/pressreleases/2014/nuclear\\_May\\_2014](http://www.sipri.org/media/pressreleases/2014/nuclear_May_2014)

### いま核戦争がおきたら・・・

- ▶ 2000万人が犠牲に！
- ▶ 広範囲で放射能汚染！
- ▶ 地球規模で、気候に異常が！

※核戦争防止国際医師会議（IPPNW）資料より。  
インドとパキスタンで核戦争が起きた場合

### 核兵器をなくして貧困をなくそう

世界で1日1.25ドル以下で暮らす人びとは12億人（世界銀行、2013年）



世界で核兵器に使われているお金は2011年に約1050億ドル  
（核兵器廃絶 NGO「グローバル・ゼロ」資料より）

国連認証NGO・原水爆禁止日本協議会

電話：03-5842-6031 / メール：antiatom55@hotmail.com

# 一人ひとりの署名が核兵器をなくす力です

核兵器が使われないためには、すべてなくすしかありません。2010年、核保有国をふくむ世界の189の国々は「核兵器のない世界の平和と安全」を達成すると合意しました。この実行がとわれる国際的な会議が来年4月にニューヨークで開かれます。そこへ向けて、私たちは、核兵器のない世界をめざす流れを大きくするため、「核兵器全面禁止のアピール」署名を集めています。

署名は、潘基文国連事務総長や広島、長崎両市長をはじめ、内外の多数の賛同を得て始まり、いま約420万人分集まっています。「日本で始まった（「核兵器全面禁止のアピール」）署名運動が数百万人分を集めていることは大きな励みです」と国連の幹部から評価を受けるなど、国際政治を動かす力になっています。



国連総会議場入口に展示されている署名のモニュメント

## 被爆70年へ、被爆者の願いにこたえましょう

「核兵器のない世界」の実現によって、核兵器などの軍備に費やされていた膨大な資源を、福祉や環境など暮らしの向上に役立たせることができるでしょう。核兵器がもつ莫大な破壊力をちらつかせて、他国の安全を脅かすことをやめさせ、わたしたちの平和と安全をつくることもできます。

原爆投下の「地獄」を体験した被爆者の方々は、「命あるうちに核兵器のない世界を」とねばり強く世界にうたえてこられました。被爆者の平均年齢は79歳をこえました。今こそ、その声にこたえようではありませんか。ぜひ、「核兵器全面禁止のアピール」署名にご協力ください。

### 「核兵器全面廃絶国際デー」とは？

2013年の国連総会で、インドネシアなど、世界の120の国々が参加する非同盟運動が、核兵器をつくることも、持つことも、使うこともすべて禁止する条約の交渉開始を求める提案をおこない、137カ国の賛成で採択されました。その中で、毎年9月26日を「核兵器全面廃絶国際デー」として決めました。国際連合は、この日に、各国政府と市民社会が核兵器を廃絶する決意を確認しようと呼びかけています。